



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社
 コード番号 5310 URL http://www.toyotanso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 近藤 尚孝
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 増田 茂樹 TEL 06-6472-5811
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	17,535	13.0	2,366	14.7	2,779	32.0	1,824	24.8
2020年12月期第2四半期	15,514	△19.0	2,063	△34.7	2,105	△31.3	1,461	△36.5

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 3,087百万円 (181.3%) 2020年12月期第2四半期 1,097百万円 (△42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	86.98	-
2020年12月期第2四半期	69.69	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	78,917	68,657	86.9
2020年12月期	76,075	66,622	87.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 68,610百万円 2020年12月期 66,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	16.9	5,600	63.6	6,000	54.7	4,200	57.7	200.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、2021年8月10日発表の「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】 9 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	20,992,588株	2020年12月期	20,992,588株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	19,898株	2020年12月期	19,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	20,972,725株	2020年12月期 2 Q	20,972,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年8月18日に証券アナリストおよび機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日TDnetにて開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
(1) 品目別の受注及び販売状況	12
(2) 概況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や米中貿易摩擦の影響が引き続き懸念されるなど、先行き不透明な状況が継続する一方で、企業収益の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかながら回復の兆しを呈しております。

当企業グループを取り巻く事業環境は、輸送機器やエネルギー関連市場においては、半導体不足による自動車産業の稼働低下や、太陽電池市場における競争激化などの懸念材料があったものの、半導体市場における旺盛な需要に支えられ、好調に推移しました。

このような状況の中、当企業グループにおきましては、顧客ニーズに真摯に向き合いながら、事業機会を着実に取り込むべく、生産性向上によるコスト競争力の向上、技術革新に追随しうる新製品ならびに高付加価値製品の開発・増強などを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は17,535百万円（前年同期比13.0%増）、利益については、営業利益2,366百万円（同14.7%増）、経常利益2,779百万円（同32.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,824百万円（同24.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。（品目別の概況は「3. 補足情報」をご参照ください。）

日本

機械用カーボン分野は、前上期におけるスポット需要の反動により軸受・シールリングが減少したものの、半導体用が旺盛な需要に支えられ好調に推移したほか、連続鋳造用や工業炉用などの冶金用も着実に回復するなど、売上高は8,816百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は1,929百万円（同9.9%増）となりました。

米国

半導体や冶金用など全般的に堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の影響などにより一部用途が低迷し、売上高は1,250百万円（同5.2%減）、営業利益は9百万円（同1.5%増）となりました。

欧州

カーボンブラシ製品が好調に推移したことに加え、冶金用も堅調に推移したことにより、売上高は1,665百万円（同3.1%増）、営業利益は89百万円（同144.3%増）となりました。

アジア

太陽電池用は減少したものの、半導体用や放電加工電極用をはじめとした冶金用、カーボンブラシ製品などが好調に推移したことにより、売上高は5,802百万円（同41.3%増）、営業利益は416百万円（同40.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,841百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,108百万円増加および有形固定資産が1,404百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ806百万円増加いたしました。これは主に未払金が207百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が403百万円増加、未払法人税等が326百万円増加、前受金の増加等により流動負債のその他が147百万円増加および長期リース債務の増加等により固定負債のその他が127百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,035百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が775百万円増加および為替換算調整勘定が1,241百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2021年12月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年8月10日公表の「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,632	13,791
受取手形及び売掛金	11,389	12,498
有価証券	2,999	2,999
商品及び製品	7,495	7,514
仕掛品	5,454	5,796
原材料及び貯蔵品	2,725	2,465
その他	707	530
貸倒引当金	△150	△128
流動資産合計	44,253	45,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,180	11,034
機械装置及び運搬具(純額)	7,287	7,427
土地	5,821	5,864
リース資産(純額)	786	988
建設仮勘定	3,414	3,541
その他(純額)	958	996
有形固定資産合計	28,448	29,853
無形固定資産	198	229
投資その他の資産	3,174	3,367
固定資産合計	31,821	33,449
資産合計	76,075	78,917

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587	1,990
電子記録債務	788	866
短期借入金	215	184
未払金	1,831	1,623
未払法人税等	365	691
賞与引当金	379	366
役員賞与引当金	20	—
その他	3,260	3,407
流動負債合計	8,450	9,131
固定負債		
長期借入金	39	24
退職給付に係る負債	140	151
資産除去債務	265	267
その他	556	683
固定負債合計	1,003	1,127
負債合計	9,453	10,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,609	9,609
利益剰余金	48,331	49,106
自己株式	△60	△60
株主資本合計	65,828	66,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	142
為替換算調整勘定	628	1,869
退職給付に係る調整累計額	△9	△4
その他の包括利益累計額合計	749	2,007
非支配株主持分	43	47
純資産合計	66,622	68,657
負債純資産合計	76,075	78,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	15,514	17,535
売上原価	10,515	11,987
売上総利益	4,998	5,548
販売費及び一般管理費	2,934	3,181
営業利益	2,063	2,366
営業外収益		
受取利息	34	39
受取配当金	60	6
為替差益	—	220
持分法による投資利益	29	51
雇用調整助成金	—	42
その他	44	92
営業外収益合計	168	452
営業外費用		
支払利息	1	14
為替差損	109	—
減価償却費	8	8
受託研究費用	—	8
その他	7	9
営業外費用合計	126	40
経常利益	2,105	2,779
特別利益		
固定資産売却益	20	2
補助金収入	9	10
特別利益合計	29	12
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	73	61
特別損失合計	73	61
税金等調整前四半期純利益	2,062	2,730
法人税等	576	714
過年度法人税等	—	※ 189
法人税等合計	576	903
四半期純利益	1,486	1,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,461	1,824

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,486	1,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	11
為替換算調整勘定	△366	1,184
退職給付に係る調整額	△0	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	59
その他の包括利益合計	△389	1,260
四半期包括利益	1,097	3,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069	3,081
非支配株主に係る四半期包括利益	28	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,062	2,730
減価償却費	1,390	1,494
持分法による投資損益(△は益)	△29	△51
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△49	△39
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66	△22
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△46	△32
受取利息及び受取配当金	△94	△45
支払利息	1	14
為替差損益(△は益)	36	△169
固定資産除売却損益(△は益)	53	59
売上債権の増減額(△は増加)	2,363	△702
たな卸資産の増減額(△は増加)	△458	230
仕入債務の増減額(△は減少)	△243	267
その他	△613	411
小計	4,274	4,122
利息及び配当金の受取額	102	45
利息の支払額	△4	△13
法人税等の支払額	△587	△585
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,785	3,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,654	△3,707
定期預金の払戻による収入	7,866	3,084
有形固定資産の取得による支出	△3,173	△2,651
有形固定資産の売却による収入	28	2
無形固定資産の取得による支出	△58	△42
その他	△229	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,778	△3,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20	△39
長期借入金の返済による支出	△15	△16
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△31	△68
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,047	△1,047
非支配株主への配当金の支払額	△42	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,116	△1,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,373	△638
現金及び現金同等物の期首残高	6,101	12,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,474	11,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書における(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響等に関する仮定について、重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 過年度法人税等

当社において、2016年12月期から2018年12月期までの課税年度の法人税等について大阪国税局による税務調査を受けた結果、過年度法人税等189百万円を計上しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,472	1,319	1,615	4,106	15,514	—	15,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,096	14	—	64	3,176	△3,176	—
計	11,569	1,334	1,615	4,171	18,690	△3,176	15,514
セグメント利益	1,756	9	36	296	2,099	△35	2,063

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	6,726	1,529	1,533	5,658	3,763	65	15,514
割合(%)	43.4	9.9	9.9	36.5	24.3	0.3	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,816	1,250	1,665	5,802	17,535	—	17,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,600	31	0	65	3,697	△3,697	—
計	12,417	1,281	1,665	5,868	21,233	△3,697	17,535
セグメント利益	1,929	9	89	416	2,444	△77	2,366

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	7,144	1,405	1,672	7,215	5,467	97	17,535
割合(%)	40.7	8.0	9.5	41.2	31.2	0.6	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

3. 補足情報

(1) 品目別の受注及び販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品目	2020年12月期						2021年12月期		
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	年度合計	1Q	2Q	2Q累計
特殊黒鉛製品	3,458	2,838	6,296	2,819	3,352	12,468	4,319	4,630	8,949
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	1,129	834	1,964	760	884	3,609	912	975	1,888
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,076	852	1,929	1,501	1,674	5,105	1,462	1,572	3,035
複合材その他製品	1,769	1,544	3,313	1,818	2,060	7,191	2,466	2,618	5,084
合計	7,433	6,070	13,503	6,900	7,972	28,376	9,160	9,797	18,957

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

※2. 一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

②受注残高

(単位：百万円)

品目	2020年12月期				2021年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
特殊黒鉛製品	2,437	2,115	1,904	2,134	3,072	3,691
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	905	789	701	745	760	828
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	900	707	932	1,188	1,275	1,349
複合材その他製品	2,284	1,884	1,854	1,841	2,284	2,741
合計	6,527	5,496	5,393	5,909	7,393	8,611

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

※2. 一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

③品目別販売実績

(単位：百万円)

品目	2020年12月期						2021年12月期		
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	年度合計	1Q	2Q	2Q累計
特殊黒鉛製品	3,650	3,455	7,106	3,348	3,452	13,907	3,588	4,296	7,884
【エレクトロニクス分野】	1,351	1,305	2,656	1,281	1,328	5,266	1,359	1,741	3,100
【一般産業分野】	1,880	1,664	3,545	1,654	1,824	7,024	1,790	2,088	3,878
【その他】	418	485	904	412	299	1,616	438	467	905
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	1,032	977	2,009	875	879	3,763	927	945	1,873
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	945	1,040	1,986	1,256	1,459	4,701	1,423	1,506	2,930
複合材その他製品	1,929	1,959	3,888	1,862	2,084	7,835	2,052	2,186	4,238
【主要3製品】	1,675	1,684	3,359	1,615	1,768	6,743	1,743	1,836	3,579
【その他製品】	253	274	528	247	316	1,092	308	350	659
商品	338	184	523	262	232	1,017	297	310	607
合計	7,897	7,616	15,514	7,605	8,107	31,226	8,288	9,246	17,535

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、中国における太陽電池製造用の売上が減少したものの、単結晶シリコン製造用および主にSiC(炭化ケイ素)半導体向けの化合物半導体製造用が大幅に増加したことにより、前年同期比16.7%増となりました。

一般産業分野は、連続鋳造用や工業炉用が好調に推移したほか、放電加工電極用も堅調に推移したことにより、前年同期比9.4%増となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比11.0%増となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、パンタグラフ用すり板の需要が下支えしたものの、前上期におけるスポット需要の反動などにより軸受・シールリングが減少したことにより、前年同期比6.8%減となりました。

電気用カーボン分野は、家電・電動工具向け小型モーター用の旺盛な需要が前下期より継続したことにより、前年同期比47.6%増となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比20.2%増となりました。

複合材その他製品

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品は、半導体用の一部用途が伸長したことに加え、LED用も回復基調となるなど、前年同期並みの水準となりました。C/Cコンポジット製品は、工業炉用が堅調に推移したほか、半導体用の需要が好調だったことにより、前年同期を上回りました。また、黒鉛シート製品は、自動車用や半導体用が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、主要3製品は前年同期比6.5%増となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比9.0%増となりました。